

耕・結・愛

KOU

YUI

AI

第14号

高畠町立高畠中学校
PTA文化広報部

印刷：(有)寄清堂印刷
TEL 0238-52-0005



体育祭について



体育祭実行委員長
武田 優都

今年の体育祭は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、規模を縮小して行われました。練習期間は五日間、当日は午前中のみで実施されました。しかし、その中でも幹部や三年生が中心となって、体育祭を盛り上げる努力をしました。声を出しての応援は幹部だけで行われましたが、軍ごととまとまって、楽

しく競技に挑むことができたと思います。順位は決まっていまいますが、それぞれのクラス、軍ごとに思いっきり体育祭を楽しみ、挑んでいました。体育祭では、競技に挑もうとしたり、何をしなくてはならないかをそれぞれ考えたりすることが大切でした。そのため、一人一人積極性や判断力、そしてクラスのつながりが向上したと思います。今回学んだこと、身につけた力を使って生活していきます。

高中生の姿から



校長 遠藤 正真

校舎屋上から数回、体育祭の準備活動や当日の動きを眺めました。広大なグラウンドに適度な距離を保って散らばり、しかしながら同色のハチマキ同志が、大声ではないけれども適切な指示で移動し、動きのある素敵なパッチワークのように映りました。

新しい生活様式の中、リーダーがマウスガードをつけ、例年通りできない応援活動だから太鼓

は不要と考えましたが、各軍幹部から「軍の合わせた動き、統率を図るために必要」との要望があり、使用することに。棒の持ち位置を指定した「タイフーン」では、コーンを旋回するよりもスライドするほうが速いと二年男子がアイデアを出すなど、工夫を凝らす姿に確かな「成長」を感じました。

はつらつと、ルールに従い正々堂々競い合った高中生、まばゆいばかりのその姿から会場にいた私たち大人は、大事なメッセージを受け取りました。



応援団結賞
橙軍組頭
原田 瑠憂奈

最初、三組で決めた目標に対し、その目標に全員が向かえず、話し合いをすることもありませんでしたが、練習や本番を通して、皆の心が一つになり、一致団結する事が出来ました。結果として団結賞を取ることができたので、今回深めた絆、自信を今後の生活に生かしていきたいです。



黄軍組頭
山木 朋哉

例年よりも短い期間での練習でしたが、黄軍のスローガン「破顔大笑」笑う門には福喜たる」のもと、みんなで楽しく練習から本番まで精一杯頑張りました。いろいろと短かった体育祭だったけど、今まで以上に体育祭を楽しんだことは、組頭として思い出になりました。



競技優勝
青軍組頭
佐藤 陽

今年の体育祭はコロナの関係で例年のようにはいかず、短い期間の練習でしたが、軍でひとつになってがんばりました。青軍みんなのがんばりのおかげで競技賞をとることができました。三年生で最後の体育祭だったので思い出に残りました。すごく楽しかったです。



赤軍組頭
佐藤 珠生

練習では、僕たち幹部の指示が伝わらず、バラバラでした。けれど、一、二年生までが、バカになって楽しむことを意識することでまとまりができてきました。当日は、笑顔が絶えない赤軍になりました。最後の行事になりましたが中学校生活の最高の思い出になりました！



白軍組頭
中川 碧人

自分は組頭として優勝するという目標を持って本番にのぞみましたが、応援や態度の面でも勝ちたいという気持ちでいっぱいでした。結果は三位だったけど白軍がどこよりもまとまっていたと思います。目標に向かって努力すれば、たくさん笑顔であふれることを学びました。



緑軍組頭
後藤 冬希

体育祭後の組会で、僕は涙を流しませんでした。それは、僕たちが緑軍が精一杯この体育祭に取り組んだからです。今回組頭を務め、何かを作り上げることの難しさ、苦勞を味わうことの大切さを学びました。僕にとつて成長させてもらった思い出深い体育祭でした。

全集中!! 高畠中 体育祭

たかちゅう たいいくさい



紫軍組頭
鈴木 太陽

紫軍のスローガン「紫電一閃」のもと、全員で頑張りました。特に、素早くきれいに行動することを心がけました。結果として完全準優勝で、悔しさと嬉しさが混ざった複雑な気持ちですが、七組のみんなと体育祭ができてとても楽しかったです。成長することができました。ありがとうございました。



陸上部



今回の新人戦では、地区・県ともに多くの選手が入賞することができました。しかし課題はまだあるので、次の大会はその課題を改善して挑みたい。部長 平井 慧叶

ホッケー部



新チームになり初めての試合で不安でしたが、ホッケー部全員が全力で臨めたので良い試合になりました。次の試合も頑張ります。部長 須藤 花凜

柔道部



団体・個人ともにたくさん入賞することができましたが、それぞれの課題も見つかりました。春の総体に向けて、技や組手などを磨いて、日々の練習に努めていきたいです。副部長 藤田 健吾

サッカー部



沖郷中戦では、終盤で取った2点を守りきりました。しかし結果は5位だったので、総体では地区優勝を目指して、手を抜かずに日々の練習を頑張ります。部長 大浦 琳太郎

吹奏楽部



コロナウイルスの影響で、観客は保護者の方のみの演奏会でした。3年生との最後の演奏を吹奏楽部全員で楽しめたので、良かったです。部長 伊藤 里桜

健闘を讃えて

男子バドミントン部



部員全員で高め合い、全力を尽くして戦いました。それぞれの選手たちが結果を出すとともに、課題も見つかったので、日々の練習を怠らないように頑張ります。部長 伊藤 渉

女子バドミントン部

今までの練習の成果を出し切り、目標だった「県大会一勝」を達成することができました。来年はベスト4入りを目指して頑張っていきます。部長 佐藤 愛莉

女子バレーボール部



競った展開になると焦りが出て、自分たちのプレーができず、悔しい結果に終わってしまいました。今後はまたメンタルも鍛え直し、少しでも強くなれるように頑張ります。部長 古藤 真汎

男子バレーボール部



新チームとして初めての大会でした。3位という結果に終わり、悔しい思いをしました。新たな課題も見つかったので、これを糧に頑張っていきたいです。部長 渡邊 琉偉

男子剣道部



男子3人という少ない人数でも、自分たちの役割を果たし優勝することができました。今後は、一人ひとりの技に磨きがかかるように頑張っていきたいです。部長 伊藤 飛龍

女子剣道部



新チームで優勝し、先輩方の思いを受け継ぐことができました。例年通りできない中だからこそ、剣道ができることに感謝し、切磋琢磨して日々向上していきたいです。部長 本田 真結香

女子バスケットボール部



練習してきた3対3や2対2を意識してプレーできた一方、リバウンドには課題が残りました。今後の練習で強化できるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。部長 深瀬 彩美花

男子バスケットボール部



優勝することはできましたが、自分たちの課題が多く見つかったので、チーム一丸となり一つ一つしっかり直し、次も優勝できるように頑張ります。部長 木村 史希

野球部



今回の大会ではチームの気持ちが一つになり、ミスも少なく優勝することができました。南ブロック大会に進むことができてよかったです。部長 近野 巧実

ソフトボール部



新人戦では、声を出し自分たちらしいプレーをすることができませんでした。来年に向けて、今回できなかったことを改善して、日々練習していきます。部長 島倉 壘

女子卓球部



今回の新人戦では、県大会出場はできませんでしたが、個人の課題点も見つかりました。今後は日々の練習で課題の改善に取り組んでいきたいです。部長 松本 千幸

男子卓球部

個人戦では優勝、団体戦では3位に入賞することができました。この大会は、日々の練習の大切さを感じられた大会でした。今後一人ひとりが目標をもって頑張っていきたいです。部長 大浦 悠貴

男子ソフトテニス部



目標にしていた県新人大会へ出場することができました。これからは見つかった課題を直し、気を抜かずに頑張っていきたいです。部長 佐藤 陸

女子ソフトテニス部



今回の大会では一人ひとりが最後まで諦めずに戦えたと思います。悔しい結果で終わってしまったので、次の大会に向けて今まで以上に練習を頑張っていきたいです。部長 平 心結

東道賜地区中学校 新人体育大会結果. Table listing winners and runners-up for various sports like Judo, Badminton, Volleyball, Kendo, Basketball, Softball, Table Tennis, and Soft Tennis.



部活動説明会

サッカー部部长 島田 濯

Zoomで部活動説明会を行ったことで、シンプルに部活動について説明することができたと
思います。しかし、例年とは異なり、動きを入れることができず、一年生も理解しづらい部分があったかもしれない。一刻も早いコロナウイルスの終息、そして、来年は部員全員でこの会を実施できることを願っています。



生徒会説明会

生徒会副会長 吉田 史佳

「伝えたいことが伝わるか」「機材トラブルはないか」様々な不安はありましたが、沢山の準備を重ね、先生方の力もお借りし、今年一発目の生徒会行事を大成功させることができました。体育館で行えなかったことは残念ですが、待ち時間に確認や声のかけ合いなど、Zoomだからこそ出たことがありました。

Zoomで開催



高校説明会

三学年部部长 佐藤 和憲

三年生の進路を見すえた大事な時期にスケジュール通りにリモートでの高校説明会を実施する事が出来ました。その背景には先生方の準備や段取りがあったこととに感謝いたします。生徒の皆さん、参加された保護者の方々にも有意義な手立てになった事と役員一同信じています。



生徒会総会

議長 鈴木夕葵音

今年例年とは違うリモートという形の生徒会総会となつてしまい、感覚をつかむのに時間がかかってしまいました。また、機材トラブルなどもあり、スムーズに進めることが難しくなりましたが、執行部をはじめとする多くの高中生が真剣におかげでこの状況だけからこの総会ができました。



PTA教育講演会

育成研修部長 田宮 利男

十月二十三日、全校生徒及び保護者を対象にPTA教育講演会を行いました。講師をお招きして目標や夢実現に向けてプラス思考がいかに重要かをお話しいただきました。子ども達がコロナ禍のなかでも今後の活動に向き合い、前向きに歩むきっかけになる事を願っております。

編集後記

「Withコロナ」が浸透しつつある現在ですが、まだまだ落ち着かない状況が続いています。その中で、生徒の皆さんの頑張りを紹介できたこと、委員の方々と広報誌を作成できたことを大変うれしく思います。作成にご協力いただいた先生、生徒、保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

編集委員(二学年)

- 渡部 一喜 杉本 真理
- 菅野 勝美 遠藤 美和
- 中川 順子 濱田ゆかり
- 佐藤 由起 大越久美子
- 八巻美由紀 小林 寛和
- 三宅 祐介 梅津 佑妃
- 安孫子 遥

